

# ゆきしろみず



土留擁壁構築作業



放水路周辺埋戻作業



尻屋埼灯台と寒立馬

## 主な内容

- ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 地域貢献活動等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 平成25年度に現場で実施した作業について報告します・・・・・・・・ 3
- 平成26年度も現場で作業を実施します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 新・総合特別事業計画における取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 当地点敷地内断層について説明します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- まさかり半島・まめ知識「寒立馬」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6



東通村植樹祭



春の道路清掃



TEPCO  
東京電力  
東通原子力建設所

Vol 25  
2014年  
4月号



## お知らせ

平成23年に発生した福島第一原子力発電所事故の影響により休刊しておりましたが、このたび発行を再開いたしました。今後とも、ご愛顧ご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。



所長  
藤田正明

## ごあいさつ

当社福島第一原子力発電所の事故により、東通村の皆さまには大変なご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

東通原子力発電所1号機につきましては、東日本大震災以降工事を中断してから3年が経過したにも係わらず、今後の方向性について、具体的な見通しをお示しできておりません。しかしながら、東通原子力発電所の重要性にまったく変わりはありません。

本年1月には、平成24年4月に策定した総合特別事業計画を見直し、新・総合特別事業計画を策定し主務大臣（内閣府機構担当室および経済産業省資源エネルギー庁）から認定を受けました。

今後はこの計画に則り着実に進めてまいります。

また、本年の2月6日に行われた参議院予算委員会において、茂木経済産業大臣が「東通1号機は新增設に含まれない」と見解を示していただいた事は、大変意義のあるものと受け止めております。

今後も、全社一丸となって新・総合特別事業計画を実施することはもちろん、一日も早く本格工事が開始できるよう、現場をしっかりと維持してまいります。地域の皆さまと幅広いコミュニケーションを図りながら、所員が力を合わせ全力で業務に取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 地域貢献活動等について

昨年度は、様々な機会を捉え、地域貢献活動や地域行事へ参加してまいりました。今年度も、地域貢献活動や地域行事へ積極的に参加してまいります。



春の  
道路清掃



東通村  
植樹祭



秋の  
道路清掃



## 平成25年度に現場で実施した作業について報告します



ダクト周辺埋戻作業



上部工コンクリート打設作業



上部工コンクリート打設作業



物揚場棧橋設置作業



土留擁壁構築作業



放水路周辺埋戻作業

平成25年度は、防波堤整備や仮設土留擁壁構築などの安全・品質対策作業を中心に行いました。作業へのご理解ご協力、ありがとうございました。

## 平成26年度も現場で作業を実施します



港湾風景



土留擁壁風景

昨年に引き続き、安全・品質対策の観点から必要な周辺整備作業による現場維持を実施してまいります。

計画している  
主な作業

- 防波堤波返し設置
- 土留めおよび敷地護岸部分の盛り立て造成
- 敷地周辺の整備

# 新・総合特別事業計画における取り組み

本年1月、国から新・総合特別事業計画について認定をいただきました。  
ここでは、新・総合特別事業計画についてご説明いたします。

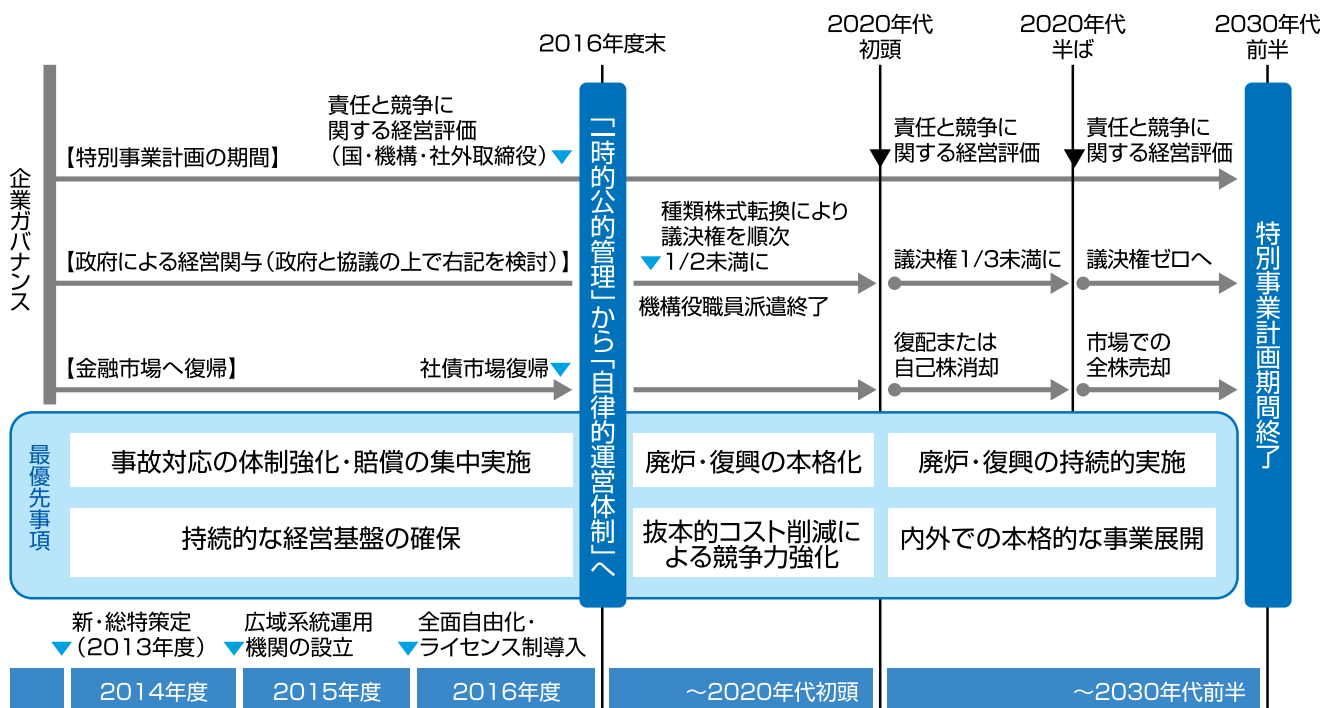
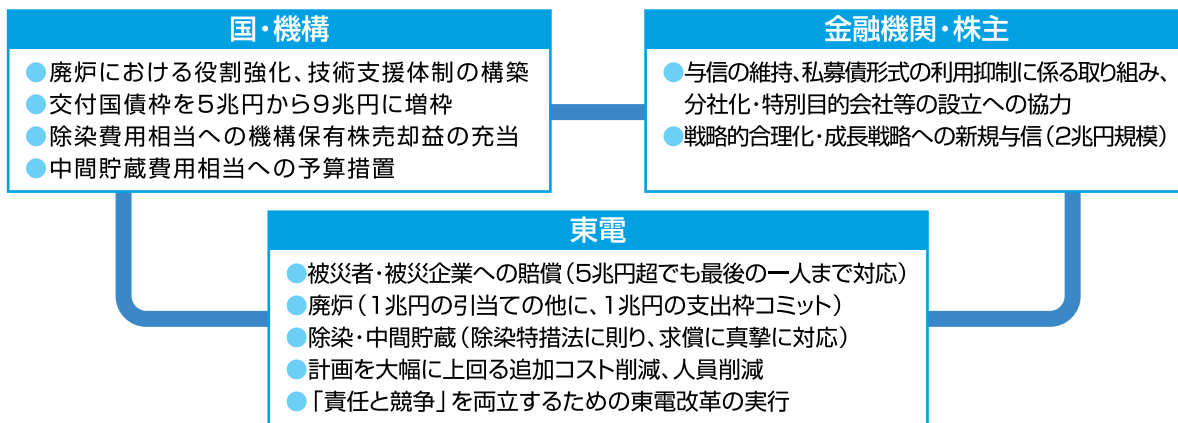
## 新・総合特別事業計画とは

新・総合特別事業計画とは、平成24年に策定した総合特別事業計画を、当社事業環境の大きな変化と、国との役割分担に関する今般の政府決定を踏まえて見直し、国より認定を受けたものです。

新・総合特別事業計画では、福島復興の加速化を最優先するために、国と東電の役割分担が明確化されました。当社はこの役割分担にしたがい、福島復興と事故への責務を長期にわたり果たし、重い責務を担うに足る経営基盤を確立してまいります。

## 新・総合特別事業計画

新・総特は国の方針を踏まえた復興加速化のための一括取りまとめを中核とする「東電新生プラン」。当社は「責任と競争」への対応を両立させつつ、新たな電気事業モデルへの変革に取り組む





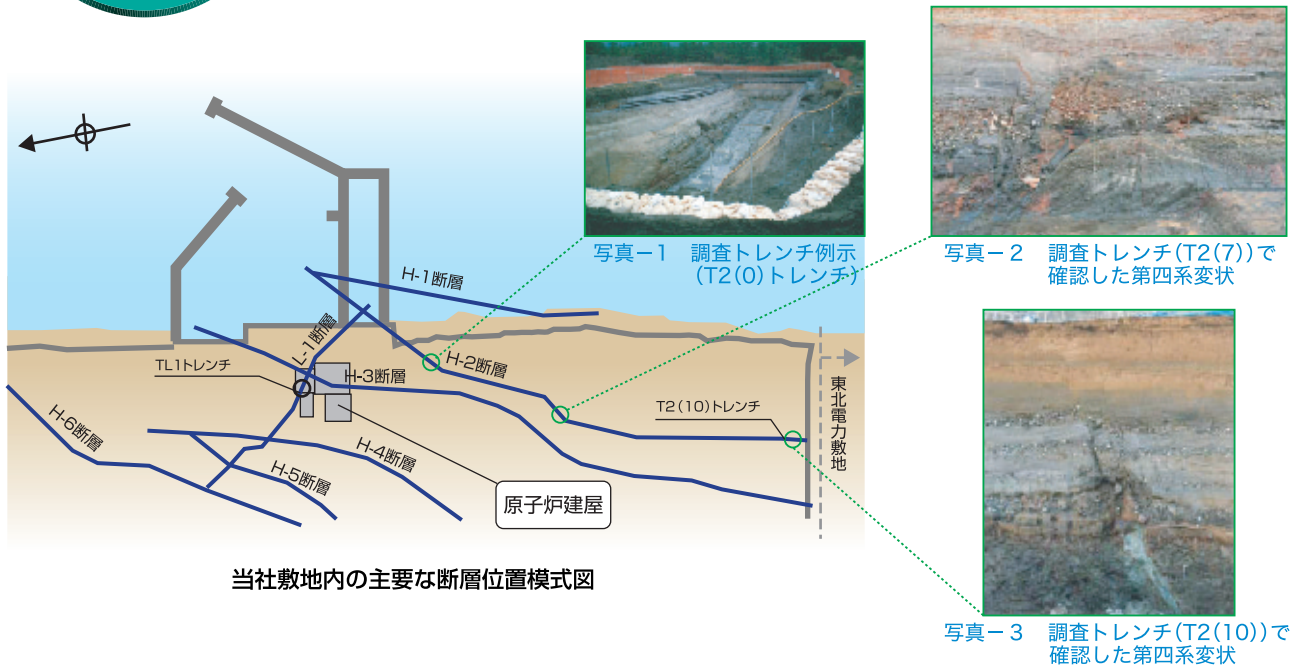
# 当地点敷地内断層について説明します (第四系変状が見られる敷地内断層の評価の概要)

当社は、断層上部に第四系変状が認められる敷地内断層は「活断層ではない」と評価し、国の安全審査を受け、平成22年12月に原子炉設置許可をいただきました。

## 第四系変状とは？

第四系の地層において、新しい時代に断層が活動したように見られる変状<sup>\*</sup>のことです。当地点敷地の岩盤内に分布する断層の上部にある地層の一部には、それらが認められています。

<sup>\*</sup>例えば段差、粘土の注入、たわみ、およびずれを伴う小さな断裂などのこと



当社敷地内の主要な断層位置模式図

写真-1 調査トレンチ例示 (T2(0)トレンチ)

写真-2 調査トレンチ(T2(7))で確認した第四系変状

写真-3 調査トレンチ(T2(10))で確認した第四系変状

## 当社の評価

敷地内断層は、「活断層の特徴」と「当社敷地内の断層の特徴」との対比により活断層としての特徴を有しておらず、**活断層ではない**と評価しています。

	活断層の特徴	当社敷地内の断層の特徴
①	断層に沿って変動地形が認められる	変状が認められる区間は、断層上の一部に限定 敷地内に変動地形は認められない
②	断層を境に広い範囲にわたって地盤変位が認められる	変状による地層の変形範囲は、断層近傍に限定
③	地下深部から断層にずれを生じ、繰り返し活動によるシャープなせん断面を伴う破碎部が認められる	断層は、地下深部で固結している
④	繰返しの活動(累積変位)が認められる	繰返しの活動(累積変位)は認められない

◆第四系変状の原因については、東北電力の見解と同様、岩盤劣化部の膨張によって発生したものと推測しています。

◆第四系変状の原因と考えている岩盤劣化部のうち、重要構造物の下部に現れるものについては、発電所建設工事の掘削で除去する計画です。

## まさかり半島・まめ知識

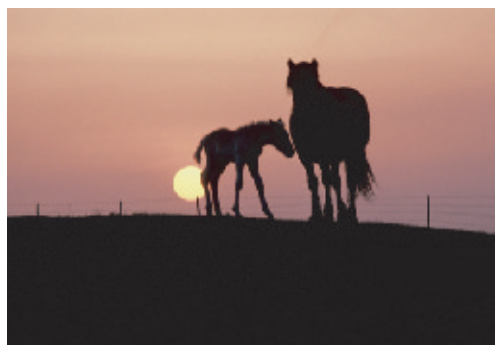
### かん だち め ～寒立馬の巻～

かつて下北地方には、野放し馬と呼ばれる比較的小ぶりで寒さと粗食に耐え、持久力に富む馬がいました。

この馬は南部馬(現在の岩手県に生息していた馬)を祖として、藩政時代から明治、大正、昭和にかけ、主として軍用を目的に外来種馬との交配によって改良されてきました。

中でも、当地尻屋では、この野放し馬をフランスのブルトン種と掛け合わせることによって、独自の種類を生み出しました。

現在、南部馬の血を受け継いでいるのは、東通村の寒立馬だけとされ、200年以上におよぶ歴史の中でつくりあげられ、人々と共に歩んできています。



お問い合わせ

東京電力株式会社  
東通原子力建設所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303  
TEL 0175-45-7052・FAX 0175-48-2019  
(月～金・平日午前9時～午後5時)

ホームページアドレス

<http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>  
「ゆきしろみず」のバックナンバーは上記ホームページで全号  
見ることができます。

今回の訪問は、

が

お伺いいたしました。  
不明な点などございましたら、ご遠慮なくご連絡  
下さい。

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。我々も雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

PRINTED WITH  
SOYINK  
大豆油インキ使用